『できる日本語』10周年記念イベントに関する「感想・ご意見」等　　2021.12.27

1	BORで交流できる時間がよかった
2	もう少しBORでお話ししたかったです。
3	教科書は作って終わりではなく、その後使っている人たちがさらに育てているという感じが伝わりました、いい教科書ですね。ありがとうございました！
4	できる日本語、是非使ってみたいです！早くお勉強したいです。ありがとうございました。
5	国外での使用状況についてのお話がとても興味深かったです。ありがとうございました。
6	かわらず嶋田先生の情熱をまた感じられてとても嬉しく思いました。また、他の方の実践例も非常に勉強になりました。ありがとうございました。
7	このような、できる日本語を使ってる先生達に感想や意見を語り合える場がいいですね
8	とても楽しかったです。多様性のある活動がいいと思いました。
9	温かい雰囲気に満ちた、また「できる」の良さを再確認できた、とてもいい会だったと思います。ありがとうございました。
10	来年度から使用する予定で、イメージを持ち続けたくて参加させていただきました。 色々な人のいろいろな意見を聞くことができて、少しずつイメージができるようになってきています。使うのが楽しみになってきました。 さいしょのイラストで文字がないことが不安でしたが、会話を十分にイメージしてから始めることが大切なんだなーと思いました。 ありがとうございました！！
11	本日はありがとうございました。4名の方の体験談が印象に残りました。今後も『できる日本語』で様々な発見をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
12	先生方の熱い思いに涙が出ました。「日本人が使う日本語をゴールにしない」という考えに、目が覚めた思いがしました。
13	「できる日本語」10周年おめでとうございます。私は新米教師で「できる日本語」の使用経験も１年半くらいなのですが、このような場に参加させていただけたこと、大変うれしく思っております。　同じ時間に嶋田先生のお声や熱い想いを共有させていただき大変感激しています。何よりも、つながって、みんなでよりよくしていこうというお言葉に勇気をもらいました。今日は各地でご活躍されている先生方とも交流でき、貴重なお話を聞くことが出来ました。嶋田先生の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。
14	できる日本語中級をプライベートレッスンで先週から使い始めました。JLPTN3受験後のビジネスマンです。学生ではないこともあり、場面設定などを工夫しながらうまく使えるかどうか、多少不安ではありますが、成果が出せるように頑張りたいと思っています。
15	１０周年おめでとうございます。熱量あふれるイベントでした。私は日本語学校の非常勤ですので、「教科書が変わると教師が変わる」ものとはいえ、教科書変更を提案する権限もございませんが、別の教科書でも『できる』のマインドを忘れず、「教師が変わると学生が変わる」というお言葉を胸に、授業に臨んでまいります。本日はどうもありがとうございました。
16	10周年おめでとうございます。これまで『できる日本語』を使ったことがなかったのですが、ご登壇いただいた先生方やBORでご一緒した先生方からさまざまなお話を聞け、大まかなイメージを持つことができました。また、サイトにたくさんの副教材やアイデアなどが詰まっていることも今日知ることができ、大きな収穫となりました。ありがとうございました。
17	１０周年おめでとうございます。本当にできる日本語があってよかったです。これからも使わせていただきます。
18	出版10周年おめでとうございます。戸田実千子先生のお勧めで参加させていただきました。「できる日本語」はまだ使ったことがありませんが、ぜひ手に取り活用してみたいと思いました。バンコク在住です。日本語を通じて全国の日本語教師と繋がって日本について、日本語を広めたいと思いました。「繋がる力」は皆の心、思いだと嶋田先生の熱量に心打たれました。ありがとうございました。

19	できる日本語の「社会とつながる力」というコンセプトを知り、 そこを大前提にに行動目標を意識しながら授業を組み立てていくということにとても共感しました。 状況に応じて場面や対応、かける時間を柔軟に変えていく、といったケースバイケースの場づくりを心掛けていきます。 今回の学びをベースに、時間のある時に、３冊のテキストをゆっくり読み直してみたいと思います。 嶋田先生のお人となりもよく伝わってきて、勇気と元気をいただきました。 ありがとうございました！
20	本日は、本当にありがとうございました。久々に嶋田先生や、『できる日本語』に携わっていらっしゃる先生方のお話をお聞きすることができ、いろいろなことを考えるきっかけにもなりましたし、何より明日からの活力をいただけました。 現在、国内製造業の就労者を対象にオンラインでどうにか『できる日本語』を使ってできないかと考えております。オンラインで週1回90分ということや、仕事がメインの方たちなので勉強の時間がとても限られているということもあり、どう進めたら上手く進められるか頭を悩ませているところです。もし同じようなケースで使われている方がいらっしゃったらお話を伺いたいです。
21	林エミさんのお話を聞いたあと、noteを読ませていただきました。とても共感し、勉強になりました。
22	特に林エミ先生のお話が印象に残りました。私は海外在住で、「できる！」をやろうとしたとき「ここじゃできないよな…」と思って飛ばすことがよくありました。でも考えるべきはそこじゃなかったようです。次『できる日本語』を使うとき、見落とさないようにしたいです。そして、その考え方は、この教科書じゃなくても応用できることですよね。教科書の中だけの学習で終わらないようにしていきたいです。 また、『できる日本語』で勉強した方が数年後に先生になってこれで教えていらっしゃるというのもすごいなと思いました。魅力あるテキストですね。 ありがとうございました。
23	ブレイクアウトでの話ができてよかったです。
24	できる日本語を使ってらしゃる先生を知って、経験を伺うことができたことに嬉しく思いました。今後の授業に、もっと工夫して、行いたくなる気持ちでいっぱいです。今日はありがとうございました。『できる日本語』十周年おめでとうございます🎉🎉🎉
25	毎年3月に浜松日本語学院で、嶋田先生にお会いしていたのですが、コロナでその集まりもなく寂しく思っていました。でも、こういう形で、日本内外の方々とできる日本語でつながっていることがうれしいです。私は、現在はプライベートレッスンの生徒さんに使っているのですが、できる日本語のストリーの中にどっぶり入って、週に1，2回ですが楽しく学習しています。今日はありがとうございました。
26	みなさんに私の経験をお話しする機会をいただけて、とてもありがたかったです。そして、日本でも海外でもいろんな授業の悩みがあるんだなあと実感したと同時に、私の小さな悩みと解決策も世界のどこかでもしかしたらお役に立てるのかもしれないと思いました。やはり、教師同士がクラスや学校を超えて、成功談も失敗談も悩みもシェアしていく必要があるのだなと思いました。それから、「できる日本語」を使った反転授業、真剣に考えようと思います！　10周年、おめでとうございます！
27	13年前イーストウエストでこの教科書から日本語教師の仕事を始めた私は、まだ10年？といった感覚ですが、この教科書を使って勉強した方が、この教科書で教えるまでになっているのだと知って、月日の流れの速さを感じています。でも、嶋田先生も澤田先生も高見先生も…森先生、落合先生、山口先生、田坂先生…お名前挙げたらきりがないですが、イーストウエストの先生方のお姿が10年前と変わっていないことにもビックリでした。勤務していたころから、この学校は頭キレッキレの美魔女だらけでバケモノ集団だと思っていましたが、それが健在！自分一人が老け込んだようで、反省しました。 この会を企画し、準備し、実行してくださった全てのみなさまに感謝・感謝です。ありがとうございました。いろいろなことで行き詰っていますが、どの国でもどの地域でも同じ悩みを抱えながら授業をしているのだなと思ったら、気が楽になりました。まだまだ私にできることがある、と自信につながりました。全ての参加者のみなさまにもお礼を言いたいです。本当にありがとうございました。コロナが収束したら是非、アルクと凡人社のご担当者様に、語り合う場第２弾を設定していただけたらうれしいです！

28	本日はありがとうございました。様々なところでの先生方のお話しを聞くことができて、とても有意義な時間でした。現在勤めている日本語学校では、『できる日本語』を使い始めてまだ少しなので、使い方に試行錯誤しているところが多いです。今回お聞きした内容で目からうろこの部分も多かったので、さっそく学校で共有したいと思いました。 また、『できる日本語』の研修会も開催されるとのことで、ぜひ参加させていただきたいと思います。本日はありがとうございました。 現在、教科書を使っていて、いつも悩んでいるのが、『できる日本語中級』の知って楽しむです。学生たちの興味を持たせて、その内容を知って楽しむのがなかなか難しく苦戦しています。課によってもやり方はいろいろあると思いますが、楽しめるやり方をご教授いただきたいです。
29	できる日本語を使用しはじめて2年になります。学生は、ほんとうにすぐに変わるということをこの教科書でなんども体験しております。また同時に「学生の中にあるものを引き出していく力」や「日本語を一緒に楽しむ力」が教師にかかってくる難しさも痛感しております。今回、初中級までを違うテキストで学習した学習者に難しいことを覚悟のうえで中級から「できる日本語」を使用しました。その学生が1課の知って楽しむの"おしゃべりのきっかけ"で感心したように「これ、面白いね。うん。家に帰って質問してみよう(同居している日本人の義父と義祖母へ)」と、どのように伝えたら面白くクイズを出せるかと質問の出し方を工夫していました。テキスト内の文章を家族に読んでもらうのではなく、自分の習った使える日本語で伝えたい!!その気持ちが本当にほほえましく、わたしもとてもうれしくなりました。学校内でもこのような体験を共有し、この教科書のよさを伝えたいと強く思いました。発表いただいたすべての事例がなるほどと思うことばかりでした。その中でも"できる!"の扱いについての浅野さんからのご質問や林さんからのご提案、諸先生方のご回答は本当に参考になりました。林さんのNoteを拝読し、しっかり自分の中でも消化し、学校内での対話(A+B=C)を大切にしていきたいと強く思いました。本当に有意義な時間をありがとうございました。
30	嶋田先生のご講演、実践報告、BORや全体での交流、盛りだくさんの記念イベントを楽しませていただきました。ありがとうございます！ BORでの様子をちょっとご報告します。 養成講座を出てすぐのご経験が浅い方は、イーストウエストって何ですか？というところから質問される方がいらっしゃいました。 また、日本語学校で５年目という方は、既にDN初級～中級までを使いこなされていて、上級では活字の多いテキストを使っているものの、DNの教え方を踏襲することで、楽しく学べているという嬉しいお話を聞くことができました。 さらに、台湾の方で現地で教えていらっしゃる方に質問をしてみたのですが、DNを通して日本の文化や習慣の違いを感じることがあるか伺ってみました。すると、例えば、初中級の１課で出てくるアルバイトの面接の流れが台湾と違って面白かったという感想をお持ちでした。パクさんはアルバイト先に事前に連絡したうえで、写真と履歴書を用意して面接に臨んでいましたが、台湾ではもっとラフな形でLineで話して決まることもあるということでした。 本日、海外から参加されている方から、日本と環境が違うので「できる！」の活動が難しいという声もありましたが、同じ海外で教えている方から、DNを通して文化差を知り、それを楽しんでいると伺い、教師がテキストを柔軟に見る目が必要だなと感じました。 短い時間でしたが、BORでは様々な教育現場の先生方のお話を伺うことができてとても有意義な時間でした。ありがとうございました。

31	感想： 本日のイベントから、あらためて「つながり」、「つながること」の大切さを感じました。学校によって特色があり、非常勤という身分上なかなか思うようにできないこともあるのが実情です。そのうちのひとつで今私が感じている課題が、横のつながりをどう作っていくかです。『できる日本語』に限らないとは思いますが、『できる日本語』は特に、横のつながりなくしてはよりよい授業ができないよなぁ、と感じています。BORでも少し話に出たのですが、特に養成講座修了したばかりの方は不安を感じながら授業をすることが多く、さらに横のつながりがないと孤立し、一人で苦しみ、いくらサイトに充実したサポートがあったとしても、「『できる日本語』は難しい」と感じてしまうのではないかなと思います。今回のイベントのような100人以上の前で相談するほどの内容ではないけれど、でもちょっと聞きたい、よくわかっていないかもしれない、というレベルの小さな疑問はきっとそれぞれが抱えていて、それがつながりがないと自己完結してしまって、成瀬さんの話に出た初任の先生のように（成瀬さんの話のケースは少し違うと思いますが）、著者の方たちが聞くとびっくりするような理解や教え方になっていってしまうのかな、と思いました。 「せっかくのワクワクできる教科書なのに、楽しめない人たちがいるのは嫌だな、でもこれはつながれば解決できるんじゃないか」と感じています。非常勤だからとあきらめるのではなくて、非常勤でも何かできることから始めようと思います。
32	「できる日本語」の10年と合わせて、自分の10年も振り返ることができました。また、同じテキストを使っている方々が「仲間」だと思えるようになりました。 ITエンジニアのクラスで黄・青を使ったことがあります。FTP大学で（日本のFPT日本語学校でも）使っている中で、どんな工夫をしているか、お話ししてみたいと思いました。 嶋田先生をはじめ、「できる」プロジェクトの皆様、関係者の皆様、これからもよろしくお願いします。
33	ブレイクルームは貴重でした。仕方ないですが短いのと、聞きたいことが聞けないのが残念でした。 ですが、皆様の悩みが同じで、その悩みが解決できるようなヒントを次回、違う場所で共有できたらいいなぁと思います。
34	嶋田先生の教科書(だけでなく日本語教育そのもの)に対するお気持ちや、実際に使用している方々のお話が伺えて参加してよかったと思いました。できるサイトを活用したことがなかったので、今後は是非頼りにさせて頂きたいと思います。ありがとうございました。
35	嶋田先生の熱意が画面越しに伝わりました。テキストを使用している先生方のお話も聞けてよかったです。 参加させて頂き、ありがとうございました。
36	本日は『できる日本語』オンラインイベントを開催いただき、ありがとうございました。 そして、10周年とのこと、おめでとうございます。 セカンドステージでのご活躍も応援しております。 また私と『できる日本語』との出会いは、日本語教師養成講座に通っていた際、 担当の先生よりご紹介いただき、それからずっと関心がありました。 私は駆け出し段階ですので、このコロナ禍で先行き不安でしたが、 未来の日本語教育について一緒に考える機会として、つながりを広げ楽しむ場として、 そして諸先輩の先生方より心強いお言葉をいただき、誠に感謝しております。
37	改めて教師も成長しなければと刺激を受けました。ありがとうございました。 「知って楽しむ」を再話の活動として扱えないかと考えているのですが、製作者側として、そのように扱うのは意図と反していないかと躊躇しています。もし、再話の活動に取り入れることも問題なく、なおかつ実際の活動例などがあればご紹介いただけないでしょうか。
38	多くの方の協力によって、教材がどんどん充実していく様を知りました。「できる日本語」が多くの方の支持を得ているからだと思います。嶋田先生の動画と今回のお話に深く共感いたしました。今の職場では「できる日本語」は使っておりませんが、今自分達に何ができるのか、少しでもいいからできることを進めて参りたいと思います。

39	『できる日本語』に関わる方達が集まって交流できる、嬉しい機会でした。普段お会いできない方や、初めての方のご発言を聞いて、世界が広がった気がしました。自分は試作段階から長く使っている立場なので、いつのまにか当たり前に感じてしまっていたことを、最近使い始めた方の視点や悩みをお聞きすることで、初心に戻るというか、本当によくできた教科書なんだな～ということを改めて感じました。ブレイクアウトルームでは十分にお話しいただけなかった方もいらしたのがすこし残念でした。
40	「できる」の教科書は日本語教育に革命をもたらしたと思います。作成してくださったEWの先生方、アルク、凡人社の方々には感謝しかありません。10周年、改めましておめでとうございます。発表して頂いた方の<海外での使い方は場面でなく行動目標を重視で>、<3冊を使ったステップダウンの発想>、<ベトナムでITを学ぶ1.8万人の大学生が...>などからも多くの示唆を頂きました。私自身使い方に慣れて来た頃、ワンパターンになってるんでは?と感じたことがあり、「教科書を教える」という罠にハマりそうでした。(危ない! 危ない!) 最近はまた「教科書で」という原則に立ち返り「ワクワク授業」を目指しています。まだまだ毎回、試行錯誤ですが。今日は色々な方のお顔が見れて良かったです。ありがとうございました。
41	イベントお疲れ様でした。嶋田先生はじめ先生方の『できる』への愛情を感じて、１０ 周年のお祝いの場にご一緒できて、とても温かい気持ちになりました。先生方のお悩みをみんなで共有しよう、と、ただのお祝いイベントに終わっていないところがさすがです！これからも『できる』を通じて沢山の出会いがありますように。１０ 周年おめでとうございます。
42	とても興味深いお話しで、良い刺激になりました！コロナでオンライン授業になったりと、環境がかわり落ち込むことも多かったですが、セミナーに参加することでモチベーションも上がりました。ありがとうございます。
43	他校他県また海外の先生方のいろいろなお話がお聞きできて大変勉強になりました。 ありがとうございました。 林先生の体験談は、さぞ驚かれただろうなとお気持ちを察すると同時になんと幸運な方かと羨ましく、また嶋田先生のネットワークの広さを改めて知る思いでした。「教科書との対話を楽しむ」というお話はテキストをめくりながら聞かせていただきました。教師がテキストの゛仕掛け゛に気づき、学生に注目させるということがある授業とない授業では大きな差が出てくるでしょう。教師が学生の立場になってテキストと向き合い、丁寧な授業準備をすることが必要なんだろうと思います。そして、自分の教えた学生がラム先生のように立派になられると本当に嬉しいと思います。虞先生がおっしゃっていた「つながる」大切さも非常に共感いたしました。学生が「外とつながる」ということは、私も日本語教師になりたてのころから、手探りをしながらですが、頭のどこかに常に置いて授業をしてきました。虞先生の体験談をもっと伺いたいと思いました。 今日のイベントは本当に楽しかったです。機会があれば質問しようと用意していたものが、みなさんのお話よりずっとレベルの低いものだったので、言わないまま終わってよかったとほっとしている反面、やっぱり聞けばよかったと後悔もしています。ですが、大勢の方々の前ではなかなか発言する勇気が出ませんので、できる日本語ひろばで活字で質問させていただこうと思います。 今後も『できる日本語』を使わせていただき、学生の実力を最大限伸ばせるよう、努めていきたいと思います。
44	本日は有意義な時間をありがとうございました。 できる日本語使用校に採用していただき、今年4月から勤務予定でしたが、入国規制により未だに開始できない状況が続いておりました。自身のモチベーションが上がらず孤独を感じてしまうような状況下で、こちらのセミナーに参加し、あらゆる地域で活躍されている方々と繋がることができることを知り、とても心強く思いました。できる日本語を使った授業ができる日を心待ちにしながら、自己研鑽に努めたいと思います。また繋がれる機会がありましたら、是非参加したいと思います。

45	できる日本語を使用して、よりよい授業を目指して日々奮闘していらっしゃる先生が国内外問わずこんなにたくさんいらっしゃることに、びっくりしました。そして、発言者のみなさんのきらきらした表情と学生に日本語を話すことが楽しくなって巣立ってもらいたいというまっすぐな気持ちが伝わってきました。ＥＷでお世話になってもうすぐ7年になりますが、未だに教務の先生方にいろいろお尋ねしているので、始めたばかりの先生や海外で教えていらっしゃる先生の”これでいいのかな？”と迷う気持ちはいかほどだろうと思いました。そして、本をつくられた方々が身近にいらっしゃり、いろいろお話をお聞きできる自分は、恵まれた環境にいること改めて感じました。いつまでたっても迷いがなくなりませんが、本をつくった時点で終わるのではなく、ずっと成長し続けていく教科書だということを考えると、この先もきっと迷いはなくならないのだろう、そしてそれが教師の勉強でもあるのかなとも思います。 一点だけ、途中トイレ休憩の時間があったらよかったなと思いました。 どうもありがとうございました。
46	いつもながらの嶋田先生の熱い思いを聞かせていただき、ありがとうございました。できる日本語を使い始めて三年が経ちましたが、奥が深くていつも気づきもあります。ちょうど１月から中級の16課から20課に進みます。今日のお話はとてもありがたかったです。 できる日本語をオンライン授業で使う場合、テキストのイラストや音声を、パワポなどに貼り付けて共有するのは著作権的に問題ないのでしょうか？　もちろん教師、学習者共にテキストは持っている状態ではありますが…。
47	10周年記念おめでとうございます。 できる日本語の歴史や先生方の取り組みをお聞きすることができました。できる日本語は、とてもワクワクするものです。ロールプレイを学習者さんと一緒に楽しみたいと思います。 先生方はとても素晴らしく、人としても学ぶところがたくさんあります。居心地がとても良く、ずっとご一緒したい場所でした。ありがとうございます。私もそういう居場所を自然と作れるように、楽しみながら努力したいと思います。 嶋田先生、皆様、素敵な機会を与えてくださり、感謝しております。益々のご発展を心よりお祈り申しあげます。
48	できる日本語10周年おめでとうございます。 プログラム②では実際にできる日本語を使っていらっしゃる方々のお話をとても興味深く聞かせていただきました。なかでも成瀬さんの「教科書との『対話』を楽しむ」が深く印象の残りました。イラストの葉っぱから「（風が吹いてきたから）窓を閉めましょうか。」「お願いします。」の流れに気がつかれたこと。テキストを読み込むというのはこういうこと。と教えていただいたような気がします。「教科書との『対話』」を楽しんでらっしゃるからこそ、こういった発見につながるのだと思いました。 私も漫然と文字やイラストを追うのではなく、なぜ？どうして？を大切に「できる日本語」との対話を楽しんでいきたいと思います。
49	海外在住の先生方のご苦労、お話しを聞くことができて新鮮でした。
50	『できる日本語』が多くの方々の実践や話し合いをもとに作成されたこと、そして多くの日本語教師の実践とともに成長してきたことがよく分かりました。
51	できる日本語の教科書としての完成度の高さ、また人気のほどがあらためてわかった。各国語版の相次ぐ刊行といい、ますますグローバルな日本語の教科書の決定版として名声を高めている様子を知り、自分のことのようにうれしくなった。
52	嶋田先生が「教科書はできたらそれで終わりではない。みんなでつながってみんなで良くしていきたい」とおっしゃっていて、本当にそのように考えていらっしゃるのが感じられ、とても印象に残りました。また学習者を社会とつなげよう、学習者の視野を広げようという姿勢がつよく感じられて、海外で教えている私にとって難しい部分でありますので、改めて考える機会となり気付きとなりました。他の先生方とも対話することができて大変おもしろかったです。貴重な体験をありがとうございました。
53	本日はありがとうございました。最後のブレイクアウトに入る前のタイミングで、急遽仕事に戻らなければならなくなり、突然退出してしましい申し訳ございませんでした。
54	時間の都合で40分しか聞けませんでしたが、できる日本語のコンセプトがわかったように思います。サイトをじっくり拝見して勉強いたします。

55	今年の3月から非常勤の日本語教師を始めました。今日はありがとうございました。とても参考になりました。 つながる、そのためにはわくわくすることが大切なんだということを実感しました。 日々の授業でもっと意識してやっていこうと思います。
56	仲間を梅里雪山の遭難で失った小林尚礼氏の　その後の人生と日本語教材への反映のお話は感銘深く拝聴いたしました。多くの方のエネルギーを分けていただきありがとうございます。
57	日本の色々な場所で、世界中で使われていているんだなと思いました。できる日本語を使っているという話題で多くの人と話題が共有できるんだなと実感し、様々な方とコミュニケーションを取ってみたいと思いました。 また、できるで学習して教師になった方が印象的でした。教師になる目標も叶えて、このイベントで活躍もされて、素敵です。
58	特に、海外の先生方がテキストを現地の学習者に合わせて工夫していることに日本語教師ならではのやりがいをもってなさっていること、その素晴らしさを感じました。
59	「できる日本語」はまだ使用経験が少ないのですが、色々な方のお話しを聞くことが出来てとても良かったです。海外在住学習者に教えているので、同じ悩みを抱えていらっしゃることにも共感でき、安心しました。私のような「できる日本語」初心者向けの人達と繋がれる場があれば良いなぁと思いました。
60	嶋田先生、そして『できる日本語』らしく「つながる（つながっていく）」というテーマが具現化されていたイベントであったと思います。とても刺激・励みになりました。 ブレイクアウトセッションでもう少し時間があれば・・・と感じました。
61	この度は10周年おめでとうございます。とてもすばらしい会に参加することができてうれしく思います。日本だけでなく世界中からたくさんの方が集まった方々のお話を伺い、励みになりました。それぞれで工夫されていること、実践例など参考になることもありました。コロナで通常のように初級から進めていくことがここ2年近くできておらず、忘れていたことなど振り返り原点に立ち返るいい機会になりました。これから「できる日本語」を使用するにあたり、基本を忘れず、この会での嶋田先生をはじめ皆様の熱量を思い出し、前に進もうと思います。ありがとうございました。
62	林エミ先生のオンライン授業で上手く出来ない辛いという素直な気持ちをつぶやいたことで生まれた新たな発見や繋がりを聞き、私ももっと素直に分からないこと、出来ないことを仲間の先生や、でき日を使用している先生方と共有をすべきかもしれないと気づかされました。出来ないことが恥ずかしい、自分で工夫をしないとと、どこかで自分の気持ちを隠してしまっていたかもしれないと思いました。素直な気持ちを共有することで、こんなに新たな気づきや発見があるんだと、早速一緒に担当している先生達と最近感じていたことを共有したいと思いました。ありがとうございました。
63	海外を含め、できる日本語を使っていらっしゃる先輩方が沢山おられることが実感できました。使い方に迷いがあるときには、そうだんさせて頂きます！本日はありがとうございました。
64	貴重な節目の会に参加させていただき、ありがとうございました。 できる日本語の教科書10周年に比べると、私の使用歴はまだまだですが、このまま歴を伸ばしていろいろな発見をし、成長し続ける教師でありたいと改めて気を引き締められる機会でした。 また、嶋田先生はじめ、著者の先生方と直接お話をさせていただいたり、メールで連絡をさせていただける教科書はなかなかないので、そういった意味でも、とても至れり尽くせりな教材だと思っております。

65	再度できる日本語の大切なことである「対話」について考えることができました。教師間でも学生とも対話がまだまだ足りないなと、 名古屋でできる日本語を使い始めて２年目でまだまだ教師が使い慣れていないこともあります。一度嶋田先生にきていただいて話をしていただいていますが、まだ文法脳から脱出できていません。先日、福岡国際学院の古賀さと子先生にもできる日本語とは？でお話ししていただいてますが、できる日本語の外側は理解できていますが、内側の大切なところが抜けていると思います。 その中で学生から「スパイラル式がつまらない、だったら新しい文法を勉強したい」「やってみよう」や「できる！」で先生たちが一生懸命考えた案でさえも、やった！楽しい！という感覚をつかむまでにいっていません。 私の悩みです。
66	『できる日本語』10周年、本当におめでとうございます。『できる日本語』ができるまでもかなりのご苦労があったと思いますが、その後、様々な教材を増やしてくださり、本当に感謝しております。『できる日本語』が「教師や学生とともに成長していくテキスト」であるということが、とても印象的な言葉でした。そうしていく中で、いつまでたっても色あせない、いつも新しさを感じさせるテキストになっているのだなあと、しみじみ感じました。『できる日本語』を使うまでは、日本語教師として「個人の実力を伸ばしていく」ことを念頭に置いておりましたが、このテキストを使うようになり、「チーム力」を意識するようになりました。一つのクラスを何人かで教えていく中で、一つの目標を目指すためには、対話が必然的なものになります。ほかの教科書では、「進度をずらさずに自分の担当個所を教えること」が大切になり、チームティーチングと言えどもチームになっていないことが多いかと思うのですが、『できる日本語』は、同じチームの先生が心を一つにしなければ、上手く行かないことが多く、チーム力が強く求められます。でも、そうやって対話を続けていく中で、一人では到底味わえなかったであろう喜びが得られるようになりました。「行動目標」があるということが、こんなに大切なことなんだとあらためて気づかされ、自分自身の仕事の仕方、チームのまとめ方、また生活においても、「目標」を意識するようになりました。色々な気づきをくれるこの教科書に、改めて感謝申し上げます。また、昨日のイベントでは『できる日本語』の制作に携わられた方々が司会役をされていたと思うのですが、その先生方の表情や話し方が、みなさんとても素敵だと思いました。『できる日本語』のコンセプトを体現されているかのように感じました。私も、もっと『できる日本語』を理解し、体現できるようになりたいと思います。昨日は、そのあとすぐに出かけなくてはならず、「おしゃべりタイム」に参加できなかったことがとても残念でした。今日、成瀬さんからその内容について詳しく聞きました。いつか、『できる日本語』を作られた先生方と深いお話ができるように、私も日々、精進してまいります。昨日は、本当にありがとうございました。イベントの企画から実施まで、本当にお疲れさまでした。
67	できる日本語を通して、さまざまな方の話を伺うことができ、とても楽しかったです。教える地域によっての課題や解決までのヒントもたくさんあった場だと思いました。 また、まだ使ったことはないけど興味があるとおっしゃって下さる方とお話しでき、次第に皆様の目がキラキラしていく様子が印象的でした。
68	様々な方の熱いメッセージから、学ぶ事が多かったです。有難うございました。

69	10周年本当におめでとうございます！ 今回は大変有意義な時間をご一緒させていただき明日からまた頑張ろうと力が湧いてきました！嶋田先生とイーストウエストの先生方、そして参加者の皆様のおかげです。単に“日本語教師です”という集まりでなく“『できる』を使っている”皆様とお会いできたことが嬉しいです。そしてこの世情の中でも世界各地で先生方が各国の事情に合わせて工夫して授業なさっていることも知ることができました。 最も印象に残ったのは“わくわくする授業”という嶋田先生のお言葉、そして「できる！」は“アクティビティではなく言語活動”というお話です。今まで「できる！」が自分の担当曜日に当たると「え～！次「できる！」なの～！どうしよう～。復習の時間にしちゃおうかな」などと担任教師に愚痴を言ったこともあったのですが、嶋田先生のこのお言葉を聴き心を入れ替えました。今はスマホがあれば何でも母語で済んでしまい、日本に居るのに日本語を話さなくても生きていける世の中ですが、学生たちにわくわくしてもらえるよう努力します。 そしてBORで３名の先生方とお話しできたのも楽しいひとときでした（時間短すぎて残念）。しかも虞先生とイーストウエストの高橋先生とご一緒のラッキーなルームでした！私がロープレの相談をし虞先生が「自分は場面や状況を少し変えてやってみることもある」とアドバイスをくださりとても参考になりました、虞先生ありがとうございます！また「私は困った時ベトナム人に相談します。日本人や管理人に言いませんからこの練習しません。」などと言う学生に対する声掛けをどうするか相談したら高橋先生が「イーストウエストにはそういう学生はいないので…」とおっしゃったので驚きました。イーストウエストの学生さん達はいつもわくわくして授業に参加しているんですね！ 私は日本語教育とは関係なく昔からベトナムやベトナム語が好きなので、参加者の中にグエン・ラムさんをお見掛けして不思議に思ったのですが日本語教師になられた方なのですね。勤務校のPFT大学は、私が３，４年前に担当した学生の母校でもあったので、勝手に親近感を持ちました。ラムさん、「できる中級」のベトナム語訳（ことば）の４課－３「シューズ」のベトナム語訳、これって「ジュース」の意味のベトナム語ですよね？？（すでに改訂されていたらごめんなさい） 本当に盛りだくさんでまだまだ感想やお礼をたくさん書きたいのですが、５年ほど前に先生の勉強会に参加した時よりほんの少しだけですが経験が増えた今、改めて嶋田先生始めイーストウエストの著者の先生方の想いが以前より心に響き、「できる」シリーズへの愛着が増しました。HP内のアドバイス帳や動画などで「できる」をしっかり理解してわくわくする授業を作っていきたいです。
70	イベントに参加し、全国そして世界中にいらっしゃる「できる日本語」ユーザーの先生方のお話を伺うことができ、その広がりとつながりに驚かされました。ＥＷで試用を始めたときはまだ小さな小さな芽だった「できる日本語」が、こんなに大きな木となり、嶋田先生が大切にされてきた「人と人とのつながり」はこんなにも大きな力となるのだと、感動しました。また、たくさんの先生方がときにはどう使ったらいいかと苦しみながらも、それぞれに工夫されて、楽しんで使っていらっしゃるお話を伺い、とても勉強になりました。これからも嶋田先生がおっしゃった「教師も学生もわくわくする授業」を日々目指して、研鑽に励んでいきたいと思います。
71	『できる日本語』で繋がる、その輪がさらに広がったように感じました。林先生の話の中にあった「Cando Statement が全てで、その場面はついてくるモノ」という部分は大変参考になりました。今後のカリキュラムや、授業内容に活かしていきます。 そして、相変わらず嶋田先生はパワフルですね。いつも「嶋田先生は、いつ寝ているのか？」と不思議に思っていましたが、今回で「嶋田先生は、寝ていない」という確信に変わりました。（笑）
72	みなさん「できる日本語」を愛していらっしゃるのだなと感じました。
73	とても充実した内容で大変勉強になりました。今後の授業に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

74	昨日はありがとうございました。『できる日本語』を始めて見たのは中級の本でした。中を見てすぐに「使ってみたい！」と思ったのをよく覚えています。昨日は嶋田先生のお話をはじめ、４人の方のお話もそれぞれ興味深く聞かせていただきました。これから、私自身更にわくわくしながら学生とともに学び続けたいと改めて思いました。ありがとうございました。
75	”できる”に関わっている方の熱い思いが伝わってきました。 こちらを使って教えたことが無いのですが CanDoステートメントを使って学習者が話せるようになる そんな想像をしていいたらワクワクしてきました。 また、教科書を使いこなすにあたっても授業でぶつかる壁にもひとりで向かうのでなく みんがなが繋がっていくことで共に考え乗り越えていけることが大切であることを することができるイベントでした。
76	教えている場所が違えば抱える課題が様々なのだと思いました。そして、悩んでいらっしゃる先生のお話や、初めて聞く実践例をお聞きし、自分はどうかな、と振り返るいいきっかけになりました。また、BORのとき、現在コロナの影響で自宅待機、という先生が2名もいらっしゃって、日本語教育自体が大変な状況に置かれているのだと実感しました。 これから、私ももっといろいろなチャレンジをして、クラス活動が活発になり、学生の日本語のレベルやコミュニケーションのスキルが向上する方法を常に考え続けて行きたいと思います。
77	生きて働くコミュニケーション力を養う「できる日本語」を使ってみたいです。実践されている授業を参観したいと思いました。また、優れた教科書であっても、それを使う教師に実践力がなければ、学習者の方々の力を伸ばすことができないという事を、先生方のお話を聞いて改めて感じました。
78	『できる日本語』は、使ったことがなかったのですが、本にまつわるいろいろなお話をうかがうことができ、是非実践で使ってみたいと思うようになりました。また、思いがけないご縁にも恵まれ、嶋田先生の温かくフラットなご対応に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
79	10周年おめでとうございます。できる日本語は、人とのつながりを大切にしていることが改めて感じました。本と対話をしている成瀬さんのお話聞いてすごいなぁと思いました。できる日本語には、宝物がたくさんつまった本だと思いました。
80	「できる日本語」を囲んでたくさんの対話があった事、「できる日本語」を通してたくさんの先生方、学生達がつながっている事が実感できた。成長しているのは学生だけではない。教科書も、先生も、みんなが成長している事が素晴らしいと思った。 「できる！」の授業のやり方について、イーストウエスト日本語学校の先生方にアドバイスいただけたのがとても参考になった。ありがとうございました。
81	教科書のイラストのどこに目を向けるかなど、アドバイスがもらえて参考になりました。BORでお話した方とも連絡が取れ、何かの折にはご相談できるかもしれません。またこのような機会かありましたら、是非参加したいです。
82	皆さんの発表を聞いて自分の活動を振り返る良い機会になりました。たくさんの方がこの教材を使ってつながっているんだなぁと改めて感じました。また嶋田先生の一人を大切にする姿勢があってこそつながりの輪がひろがっていることは、忘れてはならないことだと思いました。素敵な場に参加できて感謝します。
83	『できる日本語』への熱い思いが伝わってきました。特に現実に使用されてレッスンをされている先生のお話を聞けたことがとても良かったです。「話読」の重要さを教えてもらいました。『できる日本語』については、私は養成講座で使用し、レッスンには使用しておりません。なのでとても参考になりました。ありがとうございました。 嶋田先生が紹介してくださった『梅里雪山』が地元の図書館にありましたので、借りて読みます。